

令和元年度 活動の記録  
(平成 31 年 1 月 1 日～令和元年 12 月 31 日)

# 自然災害から身を守ろう！



(2019 年 5 月 21 日に開催された砂防学会「岩手大会」の特別講演)

5 月 21～23 日，砂防に係わる全国の研究者や技術者，行政関係者らが盛岡に集まり，土砂災害に係わる研究や警戒・避難について発表や討論が行われました。企画セッションでは 2018 年の西日本豪雨，特別公演では 2016 年台風 10 号による岩泉町の災害について課題や対策が議論されました。

一方，10 月の台風 19 号では県内でも土砂崩れによる犠牲者が出るなど甚大な被害が発生しました。今後も予想される豪雨等に対し，備えは更に必要です。

特定非営利活動法人 防災ネットいわて

## 業務実施の方針

平成 31 年度（令和元年度）は昨年に引き続き、次の方針で事業を実施しました。

- ・ 調査研究，提案，研修活動等を通して，組織活動の活発化を図る。
- ・ 地域の問題解決を図るため，他団体からの受託事業を円滑に実施し，積極的な事業展開を図る。

## 活動概要

本年度の活動は，これまでと同様に委託事業や土砂災害写真パネル展を実施しました。岩手県からの委託事業である土砂災害防止法基礎調査説明会補助業務は，平成 31 年度（令和元年度）で 14 年目となり，写真パネル展と共に当 NPO の主要な活動となっています。

写真パネル展は今回も岩手県砂防災課と共同で開催しました。県内外で発生した土砂災害状況等の写真パネルや小中学生が作成した土砂災害防止啓発ポスター等の展示や大規模土砂崩壊現場を映したモニター等を設置しました。また，5 月に開催された砂防学会「岩手大会」においては，学会会員として参加するとともに岩手県の展示ブースには当 NPO の土砂災害写真パネルを展示しました。

今年も岩手県や市町村職員をはじめ，多くの方々にご協力いただき，活動を続けることができました。改めて感謝申し上げます。

## 実施した事業および主な活動

### 【2019 岩手の土砂災害写真パネル展 —みんなで防ごう土砂災害—】

実施日時：令和元年 6 月 3～14 日 9:00～17:00

実施場所：岩手県庁 1 階県民室

写真パネル展は，今年も岩手県県土整備部砂防災課との共催により土砂災害防止月間である 6 月に開催しました。

過去に発生した県内外の土砂災害状況写真や県内小中学生による土砂災害防止啓発ポスター入選作品など，約 30 枚のパネルを展示しました。

会場正面には，小中学生作成のポスターと土砂災害の危険性を知らせる映像等をモニターで上映し，来場者へのアピールに努めました。



	
<p>展示壁設置作業</p>	<p>パネル設置終了後の関係者集合写真</p>

**【土砂災害基礎調査説明会住民周知事業】**

岩手県から委託を受けて実施している同事業は 14 年目となりました。土砂災害防止法に基づく基礎調査結果・警戒区域指定に関する説明会の資料配布と、説明会受付、説明補助、議事録の作成および住民の意識調査を行っています。

今年度中は、花巻土木センター管内の花巻市、大船渡土木センター管内の大船渡市・陸前高田市、岩泉土木センター管内の岩泉町・田野畑村、県北土木部管内の洋野町、二戸土木センター管内の二戸市でそれぞれ業務を実施しました。

	
<p>花巻土木センター管内 (花巻市東和支所)</p>	<p>花巻土木センター管内 (成島振興センター)</p>
	
<p>大船渡土木センター管内(大船渡市)</p>	<p>大船渡土木センター管内(陸前高田市)</p>



### 【砂防学会「岩手大会」への参加】

2019 年度 砂防学会定時総会並びに研究発表会が 5 月 21～23 日の日程で盛岡市のアイーナとマリオス等を会場に開催されました。実行委員長は砂防学会東北支部長の井良沢教授（当 NPO 理事長）。



企画セッション



特別講演

佐々木重光 氏（元岩泉消防署長）



超満員の企画セッション・特別講演会場



企業展示の様子



岩手県の展示ブース



県のブースに当 NPO のパネルを展示

◆岩手県のブースに展示したパネルの一つ

# 特定非営利活動(NPO)法人 防災ネットいわてのあゆみ

## 防災ネットいわてとは？

岩手大学農学部井良沢教授を中心に、岩手県に在住、勤務する地盤・地質・土砂災害の専門家が集い、組織したNPO法人です。市民の防災に関する知識の向上および意識の高揚を図り、地域における防災対応力向上のためのお手伝いをします。減災に向け少しでもお役に立つことができればと考えています。

防災ネットいわては、専門的知識に基づき、主に次のような活動をおこないます。

- 📍 土砂災害に関わる住民向け説明会の企画・運営
- 📍 自主防災組織の構築および活動のコンサルティング
- 📍 ハザードマップ作成
- 📍 減災に関する調査研究
- 📍 災害に関する情報発信ならびに啓発活動

## 防災ネットいわての設立

設立：平成17年（2005年）11月30日

認証：平成18年（2006年）2月8日

代表者：理事長 井良沢 道也

（岩手大学農学部森林科学科）

会員：11名（平成31年2月現在）

賛助会員：5団体（平成31年2月現在）



平成18年2月8日  
盛岡地方振興局長より認定書を受け  
る井良沢理事長

防災ネットいわてを  
紹介する新聞記事  
岩手日報  
平成18年9月3日発行



## 活動内容

### 【岩手の土砂災害写真パネル展】



平成18年度より毎年、岩手県県土整備部砂防課との共催により岩手県庁1階県民室にて写真パネル展を開催しています。

県内の災害事例にとどまらず、県外で発生した災害についても写真パネルを展示したり、土砂崩落現場状況の映像をモニターで上映しています。小中学生が作成した土砂災害防止啓発ポスター等もあわせて展示しています。

### 【住民向け説明会のサポート業務】

土砂災害防止法に基づく土砂災害危険箇所について、基礎調査結果の住民説明会のサポート業務を県内各地でおこなっています。



岩手県から委託を受け、土砂災害防止法に基づく基礎調査結果・警戒区域指定に関する説明会の資料配布と説明会受付、説明補助、議事録の作成、住民の意識調査をおこないます。

住民の皆様からは次のような意見・要望が出されました。

- ・危険箇所であることがわかって良かった。
- ・区域指定後の土地評価下落の懸念がある。
- ・地元で認識している危険箇所と指定区域にズレがある。
- ・ハード対策充実の要望。

### 【ワークショップ・啓蒙活動】

#### ★ 住民参加による地域防災力形成事業



自主防災組織の育成を目的とした県主催の事業に、土砂災害の講師とワークショップのファシリテーターとして参加しました。住民の積極的な取り組みに、確かな手応えを感じました。

#### ★ 盛岡地区広域地域づくり協議会研修会



井良沢理事長と八重樫副理事長とが「災害への粘り強くしなやかな対応 ～郷土を知り得て災害に備える～」のテーマで講演しました。出席した市町村防災部署職員に対し、土砂災害の概要、盛岡広域地区の地質、土砂災害危険箇所、災害具体例、災害防止や減災に向けた対策等の説明を行い、理解促進のお手伝いをしました。

#### ★ 土砂災害防止研修会



岩手県砂防課主催の土砂災害防止研修会が開催され、井良沢理事長が「土砂災害対策と警戒避難」のタイトルで講演しました。

## おわりに



左図の赤丸等はこれまで写真パネルを作成した県内の災害箇所を示しています。災害は県全域で発生しており、土砂災害防止に向けた普及啓発活動も全県的に実施していく必要があります。「防災ネットいわて」では、自然災害から身を守る！をスローガンにこれからも県民の皆様に向けた防災や減災への取り組みをサポートし続けたいと思います。

地図出典：岩手県建設部



◆企画セッション

【テーマ】豪雨による土砂災害 —最近の事例から見えてきた新たな取り組みの必要性—

企画セッションでは、西日本豪雨について避難勧告が早い段階から出されたにもかかわらず多数の犠牲者が出たことに対し、更なる周知の必要性が示されました。また、近年の特徴として、災害が想定されていない下流平地での被災が増えている点があげられました。

セッションで出された主な指摘や意見を整理しました。

- ・住民が自発的に避難するような環境作りが大切  
まずは住民に理解を深めてもらう努力が必要  
経験からくるバイアスを補正する情報が必要（正確に数値を伝える）
- ・住民はハザードマップの存在を知っているが、見方がわからないので見る気が起きない  
マップの見方を伝える人（通訳）が必要  
災害危険区域内の住民の身近な人に危険性を伝える  
住民が知りたいことは何なのか？
- ・自然現象を土砂災害にしない手だてが必要

◆特別講演

【テーマ】災害に学び 災害に備える —平成 28 年台風 10 号災害の教訓から—

冗談で笑いを取るなど軽快なトークで話が始まりましたが、担当者しか知らない深刻で生々しい話もありました。災害対応は指揮命令系統がシンプルであることが重要で、被災地ごとに単独の組織を投入すべきとの意見を述べていました。また、「伝えること」の大切さや災害対応の主人公を 3 助（公助・共助・自助）から 5 助（官助・公助・共助・近助・自助）へ変える意識が必要とのことでした。

企画セッション、特別講演、行政・企業展示は一般公開され、土砂災害における警戒避難や各種技術に関する調査研究の現状や課題等について市民の理解を深める場ともなりました。

<b>令和元年度 活動の記録</b> (平成 31 年 1 月 1 日～令和元年 12 月 31 日)
令和 2 年 2 月 28 日 発行
編 著：特定非営利活動法人 防災ネットいわて 〒020-0122 岩手県盛岡市みたけ 4-4-20 TEL:019-643-8890 FAX:019-643-8892 E-Mail: bni@eins.rnac.ne.jp URL: <a href="http://www.eins.rnac.ne.jp/~bni">http://www.eins.rnac.ne.jp/~bni</a>